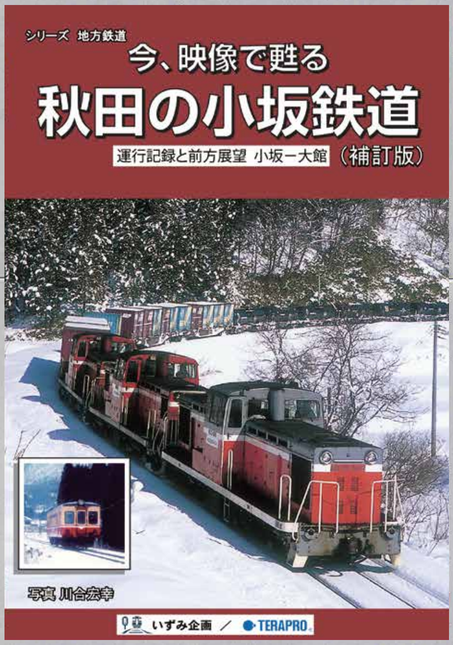
今、映像で甦る 秋田の小坂鉄道

運行記録と前方展望　小坂－大館

列車運行の記録、前方展望２作品収録!!
魅惑の小坂線を余すことなく記録する保存盤!!

●IZMB-4102 176 分　税込 5,500 円



収録内容

○本編･･･沿革と小坂と車両たち、キ100ラッセル車の排雪列車等も収録。／54列車、臨場感溢れる三重連タンカートレインの運行模様、小坂・茂内で同時収録による通票閉塞作業、信号テコ操作等／1990年前後の旅客営業時代と四季映像シーン、突放による貨車入換、工事列車等／小坂へ向けての返空回送列車53レ、機関車添乗、タブレット通過授受シーン／営業休止後の姿

○前方展望映像 ※2小坂－大館
53レ DD133(小坂−茂内)・DD131(茂内−大館) 曇／晴れ 2008.2.21撮影

制作協力：小坂製錬(株)　制作・発売元:いずみ企画　企画・販売元:テラダプロジェクト

■小坂製錬(株)　小坂鉄道商品化許諾済

※1 ライブラリ映像等、一部、当時の機材品質での映像シーンがあります。
※2 大館手前にて、テープ交換のため同時撮影カメラ映像（運転席側前方）に一時、切替る箇所があります。
パンフレットの内容は2008年8月作成現在のものです。

江戸末期の頃より、銀や銅の産地として栄えてきた秋田県北部の内陸に位置する小坂町。小坂製錬(株)で生産された硫酸が、JR奥羽線大館まで、小坂鉄道を利用して輸送されていました。DL三重連や重連に牽引されて峠越えに挑むタンカートレイン。かつて全国各地の未電化幹線、支線で見られたタブレットや腕木式信号機に代表される旧来の運転保安システム。北東北の美しい情景の中を、最後まで古き良き時代の姿を留めて走り続けた小坂鉄道は、全国の鉄道ファンから注目されてきました。
また1994年の旅客扱い廃止後も、輸送における安全確保上から一日２往復の貨物列車が運行されてきました。しかしながら、2007年から稼働した工場の新設備の使用開始に伴い、小坂製錬ではそれまでの製錬過程による副産物であった硫酸の生産を終了。休止という扱いながら、2008年3月を最後に鉄道による輸送も事実上、幕を閉じることになりました。
本作は、同鉄道が休止されるのに先立って、列車運行の模様を中心に、多種多様な映像をハイビジョンカメラで記録。魅力あふれる小私鉄の魅力を余すことなく凝縮した内容でお届け致します。

TERAPRO®